

(様式第 9)

宮大医医第 80 号
平成 24 年 10 月 4 日

九州厚生局長 殿

宮崎大学医学部附属病院長
池ノ上 克

宮崎大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	34人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	190人	206人	354.2人	看護補助者	57人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	6人	15人	20.2人	理学療法士	9人	臨床検査技師	42人
薬剤師	28人	2人	30.人	作業療法士	4人	衛生検査技師	2人
保健師	0人	0人	0.人	視能訓練士	10人	その他	0人
助産師	33人	2人	35.人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	489人	103人	576.5人	臨床工学技士	7人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	0人	0人	0.人	栄養士	0人	その他の技術員	18人
歯科衛生士	1人	3人	3.5人	歯科技工士	1人	事務職員	56人
管理栄養士	5人	1人	6.人	診療放射線技師	29人	その他の職員	53人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	543.6 人	12.9 人	556.5 人
1日当たり平均外来患者数	867.1 人	54.5 人	921.6 人
1日当たり平均調剤数	1984.9剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	慢性閉塞性肺疾患の運動耐容能改善効果の評価	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 慢性呼吸不全を来した患者を対象にペプチドホルモングレリンを3週間にわたって点滴静注し(1日2回投与)、運動耐容能の改善、食欲、体重増加を評価する。			
医療技術名	慢性下気道感染症に対するグレリン投与	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 慢性下気道感染症のため体重減少を来し、喀痰の多い患者を対象にペプチドホルモングレリンを2週間にわたってし、(1日2回投与)プラセボ投与群と比較して、喀痰量の減少、体重の増加を評価する			
医療技術名	膵石症に対する体外衝撃波結石破砕療法(ESWL)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 膵石に対する体外衝撃波結石破砕療法は、体外衝撃波結石破砕装置を用いて体外からの衝撃波で膵管内膵石粉碎化の後に消失させる悲観血的な治療法である。衝撃波は、硬いが脆い膵石を効率よく結晶細片に粉碎することである。本治療法は、低侵襲で安全性が高く、結石破砕効果および症状緩和効果が高く、膵石症に対する有効な一つである。			
医療技術名	難治性気分障害に対する経頭蓋磁気刺激療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 精神療法・薬物療法等の治療に抵抗性のうつ病をはじめとする気分障害に対し、患者の同意を得たうえで経頭蓋療法を行っている。			
医療技術名	ケミカルピーリング	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 尋常性痤瘡等の疾患に対し行う。			
医療技術名	円形脱毛症へのDPCP療法	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 難治性の円形脱毛症に対し、DPCPを用いた免疫賦活療法を行っている。			
医療技術名	皮膚悪性リンパ腫へのACNU外用療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 皮膚悪性リンパ腫の皮膚病変に対し、抗癌剤であるACNUの外用療法を行っている。			
医療技術名	酒查皮に対する色素レーザー療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 酒查皮に対し、レーザー療法を行う。			
医療技術名	網膜変性患者の遺伝子解析	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 網膜変性患者の疾患遺伝子を検索し、原因を解明する。			
医療技術名	埋め込み型骨導補聴器(BAHA)	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 混合難聴者及び片側聾患者に対し、BAHAによる聴力補償を行った。			

医療技術名	中耳真珠腫に対する前鼓室開放術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 中耳真珠腫の術後再発予防策としての追加術式。			
医療技術名	妊娠22～23週の超未熟児に対する集学的集中治療	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 妊娠22～23週で出生した未熟児は生存限界であり、呼吸循環管理に加え、消化管、皮膚、感染症対策など集学的な管理と緻密なケアとを必要とし、妊娠24週以降とは別レベルの高度医療が必要である。			
医療技術名	癒着胎盤の術前診断と周術期管理	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 妊娠中期から超音波画像、MRI画像を用いた画像診断と危機的出血を回避するための集学的（輸血部、放射線部、手術部、泌尿器科、麻酔科等）管理。			
医療技術名	口腔癌におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 口腔癌症例において、頸部リンパ節への転移の有無を、センチネルリンパ節理念により術中に同リンパ節を固定し摘出し、迅速に病理組織学的に転移しているか否かを診断し、その結果により頸部郭清術を施行するか否かを決定する。			
医療技術名	在胎22週～24週で出生した児に対する全身管理	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 生育の限界にあるこの週数で出生した児に対する集学的治療。			
医療技術名	Ex utero intarapartum treatment	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 胎盤循環を保ったまま胎児の外科的処置を行う集学的治療。			
医療技術名	腹膜透析	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 新生児の腎不全に対して行う透析療法。			
医療技術名	遺伝性疾患患者に対する遺伝カウンセリング	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 遺伝性疾患患者ならびにその家族に対し、疾患の遺伝性、再発率、サポートグループの情報提供を行うとともに、心理的ケアを行う。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	81人	・膿疱性乾癬	18人
・多発性硬化症	41人	・広範脊柱管狭窄症	6人
・重症筋無力症	78人	・原発性胆汁性肝硬変	32人
・全身性エリテマトーデス	250人	・重症急性膵炎	10人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	71人
・再生不良性貧血	19人	・混合性結合組織病	50人
・サルコイドーシス	81人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	28人	・特発性間質性肺炎	32人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	161人	・網膜色素変性症	36人
・特発性血小板減少性紫斑病	33人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	42人	・肺動脈性肺高血圧症	7人
・潰瘍性大腸炎	233人	・神経線維腫症	29人
・大動脈炎症候群	22人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ピュルガー病	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	29人	・慢性血栓性肺高血圧症	6人
・脊髄小脳変性症	35人	・ライソゾーム病	6人
・クローン病	193人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	5人	・脊髄性筋萎縮症	8人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	120人	・球脊髄性筋萎縮症	5人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	12人
・後縦靭帯骨化症	83人	・肥大型心筋症	22人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	41人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	15人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	43人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	6人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	30人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	164人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・眼底三次元画像解析	・
・膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	・
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定及び転移の検索(触診及び画像診断の結果、悪性黒色腫の遠隔転移が認められないものであって、臨床的に所属リンパ節の腫大が確認されていないものに限る。)	・ ・
・経皮的骨形成術 有痛性悪性骨腫瘍	・
・インプラント義歯	・
・エキシマレーザー冠動脈形成術	・
・超音波骨折治療法	・
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	・
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	子宮内胎児死亡を除くすべての剖検症例においてCPCを開催
部 検 の 状 況	部検症例数 26例 / 部検率 12.50%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
難治性血管疾患に対する修復・再生医療に関するトランスレーショナル研究	北村 和雄	第一内科	1,500,000	補 委 独立行政法人国立循環器病研究センター
腹部大動脈瘤におけるアドレノメデュリン・マスト細胞の意義と新たな治療法の開発	北村 和雄	第一内科	4,420,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
ヒト褐色細胞組織に存在する新規生理活性ペプチドの系統的探索	北村 和雄	第一内科	1,170,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
アドレノメデュリン(AM)の炎症性腸疾患治療薬としての臨床応用	北村 和雄	第一内科	36,241,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
スーパー特区における臨床試験の基盤形成と完遂を促進する教育プログラムの開発研究-アカデミアにおけるスポンサー機能の充実を目指して-	北村 和雄	第一内科	1,400,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
閉塞性動脈硬化症に対する単核球移植とアドレノメデュリン併用療法	北 俊弘	第一内科	2,470,000	補 委 学術研究助成基金助成金(文部科学省)
ヒトの尿に内在する新たな循環器・腎臓疾患のバイオマーカーの開発	永田 さやか	第一内科	1,170,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
腹部大動脈瘤の病態解明と細胞内エネルギー制御による内科的治療法の基盤確立	鶴田 敏博	第一内科	2,340,000	補 委 学術研究助成基金助成金(文部科学省)
KRAS変異型の切除不能進行・再発大腸癌に対する3次治療としてのTS-1 + bevacizumab併用療法第II相試験	押川 勝太郎	第一内科	一症例あたり 157,500	補 委 財団法人先端医療新興財団
原発性骨髄線維症におけるHOXB4の機能同定と、USFを標的とする治療法の開発	下田 和哉	第二内科	1,950,000	補 委 学術研究助成基金助成金(文部科学省)
劇症1型糖尿病のウイルス原因説に関する研究	下田 和哉	第二内科	1,000,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
AMLの低酸素環境下抗癌剤耐性の機序解明と低酸素選択的薬剤による根治療法の開発	下田 和哉	第二内科	195,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
潜在性HTLV-1感染関連疾患の発見と実態調査	下田 和哉	第二内科	13,000,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
ゼノグラフトモデルマウスを用いたHTLV-1感染バイオアッセイ系の確立と臨床応用	岡山 昭彦	膠原病感染症内科	1,950,000	補 委 科学研究費補助金(文部科学省)
HTLV-1感染に関連する非ATL非HAM希少疾患の実態把握と病態解明	岡山 昭彦	膠原病感染症内科	12,740,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
HTLV-1キャリア・ATL患者に対する相談機能の強化と正しい知識の普及の促進	岡山 昭彦	膠原病感染症内科	200,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)

小計16

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
間質性肺炎におけるマイクロパーティクルの役割と情報伝達物質としての意義	長友 安弘	膠原病感染症内科	1,820,000	(補) 科学研究費補助金(文部科学省) 委
新規視床下部ペプチドの網羅的探索と機能解析	中里 雅光	第三内科	5,850,000	(補) 科学研究費補助金(文部科学省) 委
インスリン分泌を制御する新たなエネルギー代謝調節ペプチド探索における日韓共同研究	中里 雅光	第三内科	5,000,000	補 独立行政法人科学技術振興機構 (委)
グレリンの代謝疾患への臨床研究	中里 雅光	第三内科	1,500,000	補 独立行政法人国立循環器病研究センター (委)
「早期診断マルチバイオマーカー開発」(がん細胞が特異的に生成するシェディング産物の網羅的解析によるがんの早期診断システム開発)	中里 雅光	第三内科	3,000,000	補 科学技術試験研究委託事業(文部科学省) (委)
難治性呼吸器疾患に対するグレリン治療の開発研究	中里 雅光	第三内科	1,560,000	(補) 科学研究費補助金(文部科学省) 委
(繰越)慢性呼吸不全に対するグレリンの臨床応用研究	中里 雅光	第三内科	27,040,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省) 委
癌医療におけるグレリンの包括的QOL改善療法の開発研究	中里 雅光	第三内科	38,000,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省) 委
スーパー特区における臨床試験の基盤形成と完遂を促進する教育プログラムの開発研究-アカデミアにおけるスポンサー機能の充実を目指して-	中里 雅光	第三内科	1,400,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省) 委
中枢性摂食異常症に関する研究	中里 雅光	第三内科	1,000,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省) 委
肥満におけるエネルギー代謝調節ペプチドの病態生理学的意義の解析	中里 雅光	第三内科	20,410,000	(補) 科学研究費補助金(文部科学省) 委
新規ペプチドNERPおよび新規グラニン由来ペプチドのインスリン分泌制御機能の探索	山口 秀樹	第三内科	1,820,000	(補) 学術研究助成基金助成金(文部科学省) 委
蛋白同化を介して抗加齢に機能するグレリンの発現に及ぼす加齢と運動の影響	十枝内 厚次	第三内科	1,690,000	(補) 学術研究助成基金助成金(文部科学省) 委
グレリンの肺癌化学療法における副作用抑制効果の検証	松元 信弘	第三内科	1,040,000	(補) 科学研究費補助金(文部科学省) 委
(松元分担)癌医療におけるグレリンの包括的QOL改善療法の開発研究	松元 信弘	第三内科	2,000,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省) 委
グレリン併用運動療法の多面的抗生活習慣病作用に関する研究	上野 浩晶	第三内科	2,210,000	(補) 学術研究助成基金助成金(文部科学省) 委

小計16

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肺線維症・上皮間葉転換を制御するマイクロRNAの探索とその作用機序の解明	柳 重久	第三内科	1,690,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
慢性閉塞性肺疾患患者における診療過程の質とアウトカムとの関連についての研究	有村 保次	第三内科	1,040,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
神経移植とL-DOPA療法がもたらす神経可塑性に関する行動神経薬理学的研究	石田 康	精神科	1,430,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
脳内神経変性疾患に対する再生医療・遺伝子治療効果判定に有用な放射性診断薬の開発	石田 康	精神科	650,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
宮崎県の口蹄疫対策における被災者支援とその実績に基づいた精神保健対策マニュアル作成に関する研究	石田 康	精神科	1,235,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
抗βアミロイドオリゴマー抗体による神経細胞保護機構の検討	林 要人	精神科	1,040,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
視覚的物体弁別課題遂行中の嗅周皮質ニューロンにおける神経栄養因子3の関与	安部 博史	精神科	1,300,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
高病原性鳥インフルエンザの診断・治療に関する国際連携研究	布井 博幸	小児科	2,600,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
先天性好中球減少症の効果的診断方法の確立と治療ガイドライン	布井 博幸	小児科	700,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
外胚葉形成不全免疫不全症の実態調査と治療ガイドラインの作成	布井 博幸	小児科	1,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	布井 博幸	小児科	1,000,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
胎盤の細胞融合におけるMf s d 2遺伝子の機能解析	盛武 浩	小児科	650,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
都農町における生活習慣病の研究	千々岩 一男	第一外科	3,000,000	補委	都農町
進行・再発肺癌に対する新規エビトープヘプチドカクテル療法と標準化学療法の併用効果を検討する多施設共同第I/II相臨床試験	千々岩 一男	第一外科	1,200,000	補委	厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
完全静脈栄養下における腸管免疫異常に対するグレリンの効果	佛坂 正幸	第一外科	1,040,000	補委	科学研究費補助金(文部科学省)
治癒切除結腸癌(Stage III)を対象としたフッ化ピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法の個別化治療に関するコホート研究	河野 文彰	第二外科	73,500	補委	財団法人先端医療新興財団

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
運動器疾患の評価と要介護予防のための指標開発および効果的介入方法に関する調査研究	帖佐 悦男	整形外科	7,500,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省) 委
骨・軟骨に異常をきたす疾患モデルマウスライブラリーの構築	関本 朝久	整形外科	2,340,000	(補) 学術研究助成基金助成金(文部科学省) 委
ATLの診療実態・指針の分析による診療体制の整備	天野 正宏	皮膚科	1,000,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省) 委
宮崎市清武町域における皮膚がんの研究	帖佐 宣昭	皮膚科	800,000	補 (委) 宮崎市
網膜変性症の原因の解明	直井 信久	眼科	3,120,000	(補) 学術研究助成基金助成金(文部科学省) 委
緑内障患者の両眼視機能に関する検討	池田 福美	眼科	200,000	(補) 科学研究費補助金(文部科学省) 委
(縦越)ポジトロン断層法(PET-CT)を用いた高度難聴児への電気聴覚検査法の開発	東野 哲也	耳鼻咽喉科	477,030	(補) 科学研究費補助金(文部科学省) 委
優性遺伝形式をとる遺伝性難聴に関する調査研究	東野 哲也	耳鼻咽喉科	500,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省) 委
新規診断マーカーCTPを用いた難治性内耳疾患の多施設検討	東野 哲也	耳鼻咽喉科	600,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省) 委
Usher症候群に関する調査研究	東野 哲也	耳鼻咽喉科	500,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省) 委
次世代シーケンサーを用いた難聴遺伝子の網羅的解析	東野 哲也	耳鼻咽喉科	650,000	(補) 科学研究費補助金(文部科学省) 委
プレスチン蛋白の膜発現様式と外有毛細胞機能との関係	松田 圭二	耳鼻咽喉科	1,950,000	(補) 学術研究助成基金助成金(文部科学省) 委
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の見直し	外山 勝浩	耳鼻咽喉科	315,000	補 (委) 財団法人先端医療新興財団
胎児脳機能リズム形成に及ぼす母体環境ストレスの影響について	池ノ上 克	産科婦人科	910,000	(補) 科学研究費補助金(文部科学省) 委
周産期医療体制の推進に関する研究	池ノ上 克	産科婦人科	3,000,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省) 委
妊産婦死亡及び乳幼児死亡の原因究明と予防策に関する研究	池ノ上 克	産科婦人科	1,000,000	(補) 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省) 委

小計16

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者名	所属部門	金額	補助元又は委託元
HIV-1母子感染予防に関する研究：HIV-1抗体陽性妊婦からの出生児のコホート研究	池ノ上 克	産科婦人科	1,500,000	①補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
チーム医療の推進における看護師等の役割拡大・専門性向上に関する研究	池ノ上 克	産科婦人科	2,000,000	①補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)
動物モデルを用いた静脈血栓塞栓症の診断と治療	田村 正三	放射線科	1,430,000	①補委 学術研究助成基金助成金(文部科学省)
静脈血栓塞栓症の分子標的治療	古小路 英二	放射線科	1,690,000	①補委 科学研究費補助金(文部科学省)
3 T MRIを用いた聴器画像診断の最適化に関する基礎的・臨床的検討	小玉 隆男	放射線科	3,380,000	①補委 学術研究助成基金助成金(文部科学省)
HDAC分子標的エピジェネティクスPET診断の基礎及び臨床応用	西井 龍一	放射線科	8,190,000	①補委 科学研究費補助金(文部科学省)
アミノ酸輸送システムAに着眼した新規糖分子標的PET診断法の開発	西井 龍一	放射線科	130,000	①補委 科学研究費補助金(文部科学省)
新規アミノ酸ポジトロン製剤を用いたテーラーメイド癌分子標的診断法の開発	西井 龍一	放射線科	260,000	①補委 科学研究費補助金(文部科学省)
吸気CTによる気管支肺癌上皮癌の形態変化を利用した組織型推定の基礎研究	中田 博	放射線科	650,000	①補委 科学研究費補助金(文部科学省)
麻酔ならびにショック時の血管反応性に関する研究	恒吉 勇男	麻酔科	780,000	①補委 科学研究費補助金(文部科学省)
小児心肺補助システムを長期間、安全に使用するための新提案	押川 満雄	麻酔科	1,300,000	①補委 科学研究費補助金(文部科学省)
リドカインの腫瘍細胞増殖抑制および致死機序の解明	鬼塚 信	麻酔科	650,000	①補委 科学研究費補助金(文部科学省)
局所麻酔薬による腫瘍細胞致死機序とその腫瘍特異性に関する研究	田村 隆二	麻酔科	260,000	①補委 科学研究費補助金(文部科学省)
麻酔薬のオレキシン細胞活動に及ぼす影響—オレキシン系は麻酔薬の標的か—	白阪 哲朗	麻酔科	390,000	①補委 科学研究費補助金(文部科学省)
敗血症性ショックに対する新規治療薬の開発	矢野 武志	麻酔科	2,080,000	①補委 学術研究助成基金助成金(文部科学省)
標準治療抵抗性神経膠芽腫に対するペプチドワクチンの第III相臨床研究	竹島 秀雄	脳神経外科	1,000,000	①補委 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省)

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Kidney International	Association between prehypertension and chronic kidney disease in the Japanese general population.	Sato Y	第一内科
Kidney International	Angiotensin II-dependent persistent podocyte loss from destabilized glomeruli causes progression of end stage kidney disease.	Sato Y	第一内科
Peptides	Shared and separate functions of the RAMP-based adrenomedullin receptors.	Tsuruda T	第一内科
Peptides	Adrenomedullin production is increased in colorectal adenocarcinomas; its relation to matrix metalloproteinase-9.	Kitamura K	第一内科
American Journal of Physiology, Regulatory, Integrative and Comparative Physiology	Gut sensing of dietary K ⁺ intake increases renal K ⁺ excretion.	Kita T	第一内科
Blood	R723, a selective JAK2 inhibitor, effectively treats JAK2V617F-induced murine myeloproliferative neoplasia.	Simoda K	第二内科
The Journal of Immunology	Involvement of Tyk2 in both the IL-12/Th1 and IL-23/Th17 axes in vivo.	Simoda K	第二内科
International Immunology	Tyk2 deficiency protects joints against destruction in anti-type II collagen antibody-induced arthritis in mice.	Simoda K	第二内科

小計8

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Clinical and Experimental Hematopathology	Clinical features and outcomes of 35 Disseminated intravascular coagulation cases treated with recombinant human soluble thrombomodulin at a single institution.	Simoda K	第二内科
Internal Medicine	Improvement of rheumatoid arthritis and autoimmune hepatitis in a patient treated with the tumor necrosis factor inhibitor, etanercept.	Kusumoto K	第二内科
Molecular and Cellular Biochemistry	Expression of CD38 with intracellular enzymatic activity: a possible explanation for the insulin release induced by intracellular cADPR.	Kitanak A	第二内科
Support Care Cancer	Medical cost analysis for antifungal prophylaxis in neutropenic patients with hematological malignancies: a systematic simulation analysis.	Kitanak A	第二内科
Leukemia	T-cell immunotherapy with a chimeric receptor against CD38 is effective in eliminating myeloma cells.	Kitanak A	第二内科
Molecular Cancer Therapeutics	The antidiabetic drug metformin inhibits gastric cancer cell proliferation in vitro and in vivo.	Kitanak A	第二内科
Journal of Crohn's and Colitis	Conception and pregnancy outcome in women with inflammatory disease: A multicentre study from Japan.	Yamamoto S	第二内科
Endocrine Journal	Significant lowering of plasma ghrelin but not des-acyl ghrelin in response to acute exercise in men.	Ueno H	第三内科
Obes Res Clin Pract	Fenofibrate ameliorates insulin resistance, hypertension and novel oxidative stress markers in patients with metabolic syndrome,	Ueno H	第三内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Obes Res Clin Pract	Telmisartan suppresses food intake in mice via the melanocortin pathway.	Nakazato M	第三内科
Endocrine Journal	Ghrelin in small intestine, its contribution to regulation of food intake and body weight in cross-intestinal parabiotic rats.	Nakazato M	第三内科
Biochem Biophys Res Commun	Therapeutic potential of ghrelin treatment for unloading-induced muscle atrophy in mice.	Nakazato M	第三内科
European Journal of Pharmacology	Ghrelin ameliorates bleomycin-induced acute lung injury by protecting alveolar epithelial cells and suppressing lung inflammation.	Nakazato M	第三内科
Rheumatology	Arthropathy with infiltrate IgG4 positive plasma cells in synovium.	Okayama A	膠原病・感染症内科
International Journal of Cancer	Proviral loads of human T-lymphotropic virus type 1 in asymptomatic carriers with different infection routes.	Ueno S	膠原病・感染症内科
European Journal of Neuroscience	Intra-ventral tegmental area or intracerebroventricular orexin-A increases the intra-cranial self-stimulation threshold via activation of the corticotropin-releasing factor system in rats.	Ishida Y	精神科
Journal of Behavioral and Brain Science	Effect of aripiprazole on methamphetamine-induced disruption of latent inhibition in rats.	Abe H	精神科
Perceptual and Motor Skills	Eye movement during facial affect recognition by patients with schizophrenia, using Japanese pictures of facial affect.	Abe H	精神科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Psychiatry and Clinical Neurosciences	Development of the Psychiatric Nurse Job Stressor Scale (PNJSS).	Abe H	精神科
Neuroscience Letters	Differential expression of FosB, c-Fos, and Zif268 in forebrain regions after acute or chronic L-DOPA treatment in a rat model of Parkinson's disease.	Takeda R	精神科
Applied Radiation Isotopes	Evaluation of BPA uptake in clear cell sarcoma (CCS) in vitro and development of an in vivo model of CCS for BNCT studies.	Moritake H	小児科
Applied Radiation Isotopes	Boron neutron capture therapy for clear cell sarcoma (CCS): biodistribution study of p-borono-L-phenylalanine in CCS-bearing animal models.	Moritake H	小児科
Pediatrics International	Concomitant transient erythroblastopenia of childhood with neonatal hepatitis.	Moritake H	小児科
Cancer Research	Enhancement of cancer vaccine therapy by systemic delivery of a tumor targeting salmonella-based STAT3 shRNA suppresses the growth of established melanoma tumors.	Ishizaki H	第一外科
Cancer Investigation	Recombinant modified vaccinia virus ankara (MVA) expressing wild-type human p53 induces specific antitumor CTL expansion.	Ishizaki H	第一外科
Journal of Immunotherapy	Heterologous prime/boost immunization with p53-based vaccines combined with toll-like receptor stimulation enhances tumor regression.	Ishizaki H	第一外科
Hepato-Gastroenterology	Results of Seton Drainage and Infliximab Infusion for Complex Anal Crohn's Disease.	Chijiwa K	第一外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Surgery Today	Side-to-Side Isoperistaltic Strictureplasty for Chronic Ischemic Enteritis: Report of a Case.	Chijiwa K	第一外科
Surgery Today	Synchronous solid pseudopapillary neoplasm and intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas: report of a case. "jointly worked"	Imamura n	第一外科
ANTICANCER RESEARCH	Preoperative Neutrophil to Lymphocyte Ratio as a Prognostic Predictor after Curative Resection for Non-small Cell Lung Cancer	Ayabe T	第二外科
The Annals of Thoracic Surgery	Bronchial Flap Closure of the Lower Membranous Trachea	Ayabe T	第二外科
Journal of Bronchology & Interventional Pulmonology	Bronchoscopic Removal of Staple-Line Reinforcement Material	Ayabe T	第二外科
Case Reports in Surgery	Emergent Completion Pneumonectomy for Postoperative Hemorrhage from Rupture of the Infected Pulmonary Artery in Lung Cancer Surgery	Ayabe T	第二外科
Annals of Cancer Research and Therapy	Persistently High Neutrophil to Lymphocyte Ratio after Surgery Indicate	Ayabe T	第二外科
Annals of Cancer Research and Therapy	A case of long-term survival of gefitinib-induction therapy for advanced N2-multistation lung cancer without epidermal growth factor receptor gene mutation.	Ayabe T	第二外科
Annals of Cancer Research and Therapy	A case of advanced lung cancer treated by surgery followed by adjuvant combination therapy of gefitinib and interleukin-2 lymphokine-activated killer cell immunotherapy.	Ayabe T	第二外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Annals of Cancer Research and Therapy	A surgical intervention followed by adjuvant treatment of erlotinib for a 85-year-old elderly advanced lung cancer.	Ayabe T	第二外科
Anticancer Research	Preoperative neutrophil to lymphocyte ratio as a prognostic predictor after curative resection for non-small cell lung cancer.	Shimizu T	第二外科
Bone	Roles of the endoplasmic reticulum stress transducer OASIS in fracture healing	Sekimoto T	整形外科
Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc	Effect of genu recurvatum on the anterior cruciate ligament-deficient knee during gait	Sekimoto T	整形外科
Journal of Spine Research	Adrenomedullin Concentration in the Cerebrospinal Fluid in Patients with Spinal Disease—Especially Adrenomedullin Production from Schwannoma—.	Hmanaka H	整形外科
The Journal of Dermatology	Epstein-Barr Virus-associated Primary Central Nervous System Lymphoma in a patient with Adult T-cell leukemia/lymphoma.	Setoyama M	皮膚科
Archives of Dermatology	Clinical Correlations With Dermatomyositis-Specific Autoantibodies in Adult Japanese Patients With Dermatomyositis.	Muroi E	皮膚科
Clinical Experimental Dermatology	Rhizomucor variabilis infection in human cutaneous mucormycosis.	Muroi E	皮膚科
Clinical Rheumatology	Increasing levels of serum antioxidant tatus, total antioxidant power, in systemic sclerosis.	Muroi E	皮膚科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Dermatology	The roles of P- and E-selectins and P-selectin glycoprotein ligand-1 in primary and metastatic mouse melanomas.	Muroi E	皮膚科
Cancer Science	SPA-1 controls the invasion and metastasis of human prostate cancer.	Kamoto T	泌尿器科
International Journal of Clinical Oncology	Long-term outcomes of three-dimensional conformal radiation therapy combined with neoadjuvant hormonal therapy for Japanese patients with T1c-T2N0M0 prostate cancer.	Kamoto T	泌尿器科
International Journal of Urology	Outline of JUA clinical guidelines for benign prostatic hyperplasia.	Kamoto T	泌尿器科
Applied Ergonomics	Application of Zen sitting principles to microscopic surgery seating	Kozawa M	眼科
Neuropharmacology	Transcriptional up-regulation of cell surface Na V 1.7 sodium channels by insulin-like growth factor-1 via inhibition of glycogen synthase kinase-3 β in adrenal chromaffin cells: enhancement of $^{22}\text{Na}^{+}$ influx, $^{45}\text{Ca}^{2+}$ influx and catecholamine secretion.	Sato S	耳鼻咽喉科
Neurochemistry International	Insulin-induced neurite-like process outgrowth: Acceleration of tau protein synthesis via a phosphoinositide 3-kinase?mammalian target of rapamycin pathway.	Sato S	耳鼻咽喉科
Auris nasus larynx	Efficacy of diffusion-weighted magnetic resonance imaging in the diagnosis of middle ear cholesteatoma.	Tono T	耳鼻咽喉科
European archives of oto-rhino-laryngology	Neuro-otological findings in psychiatric patients with nystagmus.	Tono T	耳鼻咽喉科

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Otolaryngology-Head and Neck Surgery	Incidence of External Auditory Canal Exostoses in Competitive Surfers in Japan :	Nakanishi H	耳鼻咽喉科
Fetal Pediatr Pathol.	Hemangioma of the umbilical cord with pseudocyst.	Sameshima H	産科婦人科
The Journal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicine	Perinatal death and neurological damage as a sequential chain of poor outcome.	Masatoki K	産科婦人科
Journal of Clinical Oncology	Phase ? Study of SMILE Chemotherapy for Newly Diagnosed Stage ?, Relapsed, or Refractory Extranodal Natural Killer (NK)/T-Cell Lymphoma, Nasal Type: The NK-Cell Tumor Study Group Study.	Kodama T	放射線科
Magnetic Resonance Imaging	MR signal change in venous thrombus relates organizing process and thrombolytic response in rabbit.	Tamura S	放射線科
Journal of Medicinal Chemistry	Novel 18F-labeled benzofuran derivatives with improved properties for positron emission tomography (PET) imaging of β -amyloid plaques in Alzheimer's brains.	Nishii R	放射線科
Journal of Nuclear Medicine	Delayed initial radioactive iodine therapy resulted in poor survival in patients with metastatic differentiated thyroid carcinoma: a retrospective statistical analysis of 198 cases.	Nishii R	放射線科
Journal of Nuclear Medicine	Putative Transport Mechanism and Intracellular Fate of Trans-1-Amino-3-18F-Fluorocyclobutanecarboxylic Acid in Human Prostate Cancer.	Nishii R	放射線科
Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters	A dual fluorinated and iodinated radiotracer for PET and SPECT imaging of β -amyloid plaques in the brain.	Nishii R	放射線科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Nuclear Medicine Communications	Appropriate parameters of the ordered-subset expectation maximization algorithm on measurement of myocardial blood flow and oxygen consumption with ¹¹ C-acetate PET	Nishii R	放射線科
Journal of anesthesia	Lidocaine depolarizes the mitochondrial membrane potential by intracellular alkalization in rat dorsal root ganglion neurons.	Tsuneyoshi I	麻酔科
Journal of anesthesia	Dexmedetomidine and clonidine inhibit the function of Nav1.7 independent of $\alpha 2$ -adrenoceptor in adrenal chromaffin cells.	Tsuneyoshi I	麻酔科
Journal of anesthesia	Vascular reactivity in human arteries: from experimental study to clinical application.	Tsuneyoshi I	麻酔科
Journal of anesthesia	Clinical dose of lidocaine destroys the cell membrane and induces both necrosis and apoptosis in an identified Lymnaea neuron.	Tsuneyoshi I	麻酔科
Journal of anesthesia	Lidocaine treatment during synapse reformation periods permanently inhibits NGF-induced excitation in an identified reconstructed synapse of Lymnaea stagnalis.	Tsuneyoshi I	麻酔科
Anaesthesia and Intensive Care	Comparison of predicted and perceived pain from epidural and spinal puncture in patients undergoing elective caesarean section.	Yano T	麻酔科
Neurol med chir(Tokyo)	Granulomatous amoebic encephalitis caused by balamuthia mandrillaris ?case report?.	Yamasaki K	脳神経外科
Brain Tumor Pathology	Oligodendroglial ganglioglioma -case report-.	Takeshima H	脳神経外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuro Med Chir(Tokyo)	Spontaneous regression and regrowth of central nervous system lymphomatoid graunlomatosis `case report`	Yokogami K	脳神経外科
Brain Tumor Pathol	Ahuge intraventricular congenital anaplastic astrocytoma : case report with histological and genetic consideration.	Ymashita S	脳神経外科
Oral Surgery, Oral Med Oral Patho Oral Radiol Endodontol	Noninvasive identification of peripheral vessels of oral and maxillofacial regions using electrocardiography-triggered three-dimensional fast asymmetric spin-echo sequences.	Izumi Y	歯科口腔外科・矯正歯科
Oral Surgery, Oral Med Oral Patho Oral Radiol Endodontol	Magnetic resonance angiography with fresh blood imaging for?identification of hemangiomas and blood vessels around hemangiomas? in oral and maxillofacial regions.	Izumi Y	歯科口腔外科・矯正歯科
Inflammation Research	Role of heme oxygenase-1 in inflammatory response induced by mechanical stretch in synovial cells.	Izumi Y	歯科口腔外科・矯正歯科
Journal of Cranio-Maxillofacial Surgery	Effect of bone quality and position of the inferior alveolar nerve canal in continuous, long-term, neurosensory disturbance after sagittal split ramus osteotomy	Izumi Y	歯科口腔外科・矯正歯科
Journal of Oral Pathology & Medicine	Local effects of intra-articular injection of anti-rabbit tumor necrosis factor alpha monoclonal antibody in antigen-induced arthritis of the rabbit temporomandibular joint.	Izumi Y	歯科口腔外科・矯正歯科
Journal of Biomedical Science	Inhibition of adjuvant arthritis in rats by electroporation with interleukin-1 receptor antagonist.	Izumi Y	歯科口腔外科・矯正歯科
British Journal of Oral and Maxillofacial Surgery	Correlation of mandibular bone quality with neurosensory disturbance after sagittal split ramus Osteotomy.	Sakoda S	歯科口腔外科・矯正歯科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Asian Journal of Oral and Maxillofacial Surgery	A novel modification in combined Le Fort 2 and horseshoe osteotomy for posterior repositioning of the maxilla.	Sakoda S	歯科口腔外科・矯正歯科
Hospital Dentistry and Oral-Maxillofacial Surgery	Five cases of serological positive cat scratch disease.	Sakoda S	歯科口腔外科・矯正歯科
Journal of oral and maxillofacial surgery	Comparison of Material-Related Complications After Bilateral Sagittal Split Mandibular Setback Surgery: Biodegradable Versus Titanium Miniplates.	Nagata J	歯科口腔外科・矯正歯科
American journal of orthodontics and dentofacial orthopedics	Patient with oculo-facio-cardio-dental syndrometreated with surgical orthodontics.	Nagata J	歯科口腔外科・矯正歯科
Japanese Journal of Radiology	Comparison of diagnostic and prognostic capabilities of 18F-FDG-PET/CT,131I-scintigraphy, and diffusion-weighted magnetic resonance imaging for postoperative thyroid cancer.	Nagamachi S	放射線部
Annals of Nuclear Medicine	The agreement of left ventricular function parameters between 99mTc-tetrofosmin gated myocardial SPECT and gated myocardial MRI.	Nagamachi S	放射線部
Leukemia	Clinical significance of CADM1/TSLC1/IgSF4 expression in adult T-cell leukemia/lymphoma	Kubuki Y	輸血・細胞治療部
Histology and Histopathology	Quantitative analysis of vessels with smooth muscle layer in astrocytic tumors: correlation with histological grade and prognostic significance.	Marutsuka K	病理部
Cytopathology	Characteristics of tumour vessels in cytological squash smears of astrocytic tumours.	Marutsuka K	病理部

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Inflammatory bowel disease	Adrenomedullin: A novel therapy for intractable ulcerative colitis.	Ashizuka S	卒後臨床研修センター
Biochemical Pharmacology	Hepatocyte growth factor suppresses the anticancer effect of irinotecan by decreasing the level of active metabolite in HepG2 cells.	Arimori K	薬剤部
Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry	Hyuganatsu orange (Citrus tamurana Hort. Ex Tanaka) contains a water soluble substance that suppresses bone loss in ovariectomized rats.	Arimori K	薬剤部
Biological and Pharmaceutical Bulletin	Caffeine increases the antitumor effect of cisplatin in human hepatocellular carcinoma cells.	Arimori K	薬剤部

小計2

計102

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 池ノ上 克
管理担当者氏名	総務課長 濱野 満夫

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科	<ul style="list-style-type: none"> カルテは外来、入院別に1患者1ファイル方式のID番号順で分類。 エックス線写真は1患者1ファイル方式のID番号順で分類。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	なし	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
第規一則号第一に掲げる十一の体制第一項の各号及び第九の二十三第一項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 池ノ上 克
閲覧担当者氏名	総務課長 濱野 満夫
閲覧の求めに応じる場所	ミーティングルーム (管理棟 3階)

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	83.8%	算定期間	平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		8,624 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		4,828 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		830 人
	D: 初診の患者の数		12,217 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療に係る安全管理の基本的考え方2. 医療に係る安全管理体制3. 職員研修4. 事故報告等の医療安全確保を目的とした改善方策5. 医療上の事故等発生時の対応6. マニュアルの作成7. 患者等との情報の共有8. 患者からの相談への対応9. その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療事故防止のための具体的措置に関する事。2. 医療事故防止対策マニュアルに関する事。3. 医療安全に係る職員の教育及び研修に関する事。4. 医療事故発生時の原因究明、改善策の立案・実施及び職員への周知に関する事。5. 改善策の実施状況調査及び見直しに関する事。6. 医療事故発生時の家族や患者への対応に関する事。7. インシデントレポート及び事故報告書の分析に関する事。8. 医療安全管理部の業務に関する事。9. 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に関する事。10. 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に関する事。11. その他医療事故等及び医療訴訟に関する事。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年40回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療安全管理に関する講演会（※ビデオによる講習会含む）（22回）2. 各部署との勉強会（6回）3. 新規採用者研修（12回）	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	(有)・無
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. リスクマネージャー会での事例報告及び周知2. 作業標準の作成3. 医療事故防止対策マニュアルの作成・見直し4. 院内ラウンド5. 部署毎の医療安全に関する改善計画と改善結果の報告6. 事例検証会、医療安全管理委員会での対策の検討、事例報告等	

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (1) 名 兼任 (5) 名 ・ 活動の主な内容： 1. 宮崎大学医学部附属病院医療安全管理委員会 (以下「委員会」という) の運営に関すること。 2. インシデント及び医療事故の原因究明状況の確認及び指導に関すること。 3. インシデント及び医療事故に関する診療録、看護記録等への記載内容の確認及び指導に関すること。 4. インシデント及び医療事故の発生時における患者又は家族等への対応状況の確認及び指導に関すること。 5. 患者からの医療に係る相談に関すること。 6. インシデント及び医療事故の調査及び分析に関すること。 7. 医療安全に係る情報提供及び連絡調整に関すること。 8. 医療安全のための教育・研修に関すること。 9. 医療事故防止対策マニュアルに関すること。 10. 委員会での決定事項の実施状況調査及び見直しに関すること。 11. 医療安全のための啓発、勧告、改善命令に関すること。 12. その他医療事故防止及び医療の安全管理に関すること。 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策に対する基本的な考え方2. 委員会等の組織に関する基本的事項3. 職員研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針報告6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針7. その他の院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年18回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 感染の予防に関すること。2. 感染の情報の収集に関すること。3. 感染源の追及等のための検査の実施に関すること。4. 防疫対策の確立に関すること。5. その他感染対策についての重要事項に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年16回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 感染対策に関する講演会（※ビデオ録画による講習会含む）（16回）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 感染対策担当者会議での報告及び周知2. 院内ラウンド3. 院内感染対策マニュアルの作成、見直し4. ICT会議、感染対策委員会での対策の検討、事例報告等5. サーベイランス6. コンサルテーション	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無									
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回									
<p>・ 研修の主な内容：</p> <table border="0"><tr><td>1 月</td><td>医療安全管理・感染対策講演会</td><td>医薬品添付文書について</td></tr><tr><td>4 月</td><td>新入局員オリエンテーション開催</td><td>医薬品安全管理について</td></tr><tr><td>12 月</td><td>看護技術静脈注射研修</td><td>静脈注射の薬理について</td></tr></table>		1 月	医療安全管理・感染対策講演会	医薬品添付文書について	4 月	新入局員オリエンテーション開催	医薬品安全管理について	12 月	看護技術静脈注射研修	静脈注射の薬理について
1 月	医療安全管理・感染対策講演会	医薬品添付文書について								
4 月	新入局員オリエンテーション開催	医薬品安全管理について								
12 月	看護技術静脈注射研修	静脈注射の薬理について								
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況										
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>(1) 業務手順書に基づいて業務が実施されているかチェック表を用いて確認した。</p> <p>(2) 医薬品安全管理上注意すべき情報提供を全職員に対して随時行った。</p>										
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況										
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 業務手順書は、作成後、各部門へ一部ずつ配布した。また、手順書の周知を徹底するために院コンピュータネットワークの「First Class」及び電子カルテの「カムナビ」に掲載し、全職員が閲覧できるようにした。</p> <p>(2) 業務手順書を現場の実情にあうように改訂した。</p>										

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	適宜
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 人工心肺装置及び補助循環装置 機器の取扱説明、心筋保護法説明(2) 人工呼吸器 機器の取扱説明(3) 血液浄化装置 機器の取扱説明、血漿交換療法、透析技術・トラブルについて(4) 除細動器 機器の取扱説明、機器点検に関して(5) 閉鎖式保育器 機器の取扱説明、機器点検に関して(6) 診療用高エネルギー放射線発生装置（直線加速器等） 機器に関する品質管理・精度管理、診療報酬改定等に関する機器管理対応(7) 診療用高エネルギー放射線発生装置（粒子線等） 機器に関する品質管理・精度管理、診療報酬改定等に関する機器管理対応	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (有・無)・ 保守点検の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 人工心肺装置及び補助循環装置 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検(2) 人工呼吸器 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検(3) 血液浄化装置 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検(4) 除細動器 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検(5) 閉鎖式保育器 メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検(6) 診療用高エネルギー放射線発生装置（直線加速器等） メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検(7) 診療用高エネルギー放射線発生装置（粒子線等） メーカーによる定期点検並びに職員による日常点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器の不具合や健康被害等に関する院内外の情報について、医療機器安全管理責任者から必要に応じて病院長並びに医療安全管理委員会へ報告するとともに、院内への周知や対応を行う。	